

今月号から各学校を紹介していきます！



向町小学校は「思いやり、やる気、元気」を大切にした学舎



創立150年記念式典

平成24年から始まった段階的な学校統合が令和2年に終了し、現在の向町小は児童数約250人、新庄・最上管内では4番目に大きい小学校です。統合した5つの小学校の伝統を大切にしながら、新たな向町小の校風づくりを進め、昨年度は創立150年記念式典を行いました。

その中で、各学年が6つの地区に分かれ、取材や体験を通して発見したそれぞれの地区の特色や、良さを発表しました。訪問にあたって、多くの保護者や地域の皆様にご協力いただき、あらためて地域の方々の「子どもや学校への思い」を実感しました。

「なかよし班」での活動
各学年2名ずつの「なかよし班」では、清掃や児童集会などの、いろいろな場面で縦割りの活動をしています。日頃の生活でも、自然に上級生が下級生に教えたり、助けたりして優しい気持ちで学校生活を豊かにしています。



上級生と下級生と一緒に掃除

学校生活を自分たちで創る

児童会では、あいさつ運動を盛り上げようと、朝会で劇にして分かりやすく全校生に呼びかけました。他の委員会でも自分たちで工夫し、協力して課題を解決したり、学校生活を楽しくしたりして新しい校風を創っています。

また、10月の学習発表会では、全校合唱にも力を入れました。高学年のきれいな歌声と低学年の元気な歌声が響き

季節を感じながら外遊びを行う

子どもたちは、外で遊ぶことが大好きです。サッカーやキャッチボール、鬼ごっこ、虫捕り、木の実集めなど思い思いの遊びを友達と夢中になって楽しんでいきます。外を見渡せば大きな木々と山々が季節ごとに色を変え、虫たちがにぎやかに生活しています。

また、保護者の方々に整備してもらった花壇に植えた花が美しく咲きほこり、同様に畑ではたくさん野菜が実りました。いつも四季を感じながら、青空の下、開放感いっぱいの活動ができる学校は、子どもたちにとってとても魅力的です。

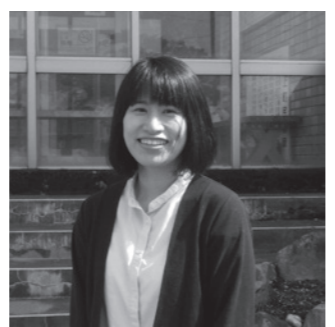


町内の農家の方が校外学習で農業について教えてくれます

「人・もの・こと」とつながる

子どもたちの学びが最も深まり、知恵も心も、人として大きく成長できるのは、やっぱり未知なる世界とつながった時だと思えます。これまで

地域の歴史遺産『楯山』と集落の力



大堀地区 井上 あゆみ 支援員

を重ねることに、沢山のアイデアが生まれ実行してきました。看板を作成するときには、大堀すこやかクラブの子供たちにも協力して頂き、城主の細川氏の家紋等が描かれました。味のある手作り看板は、景観と共に楽しめるスポットとなっています。

さらに、色々な世代に親しんでもらう活動として、先日、大堀小学校6年生が、校外学習の一環として、歴史を学びながら風景を楽しみました。自然に作り出された景観ではなく、先人が作り出した城塞を子供達と探索できる素晴らしい体験だと感じました。

地域おこし協力隊通信

下記QRで「カムロ窯」のInstagram、X (旧Twitter)、Facebookを見ることができます！



こんにちは！
今月号は秋元がお伝えします！

も参考になれば嬉しいです。出張陶芸体験では、赤倉や上満沢のサロン活動へ出向いたり、新庄市の方への出張も行なったりしています。自分で作った物がどう焼き上がるのか楽しみであるのも陶芸の魅力ですし、体験いただいた方にも大変好評いただいております。出張陶芸体験はサロン活動や行事等でもご利用できますので、ぜひお気軽にカムロ窯までご連絡下さい！



高校生が絵付け体験を行なっている様子



カムロ窯 ☎0233-43-2928

集 落 支 援 員 だ よ り

志茂には楯山と言われ、愛されている山があります。この山は、志茂の手楯とも呼ばれ、戦国時代に小国郷を守るため、細川氏が居城を構えていました。「志茂の手楯を集落外の方にも知っていただきたい」と歴史ロマンをほつする会の呼びかけに、志茂集落の方、大堀地区コミュニティ推進会議の会員も協力し、2019年の冬から、話し合いを重ねてきました。まずは、志茂の手楯の場所が正確にわかるように案内表示看板を作成することと、登山がしやすいよう定期的な草刈りを行なっていく事が決まりました。

また、内構え通りの登山口からだけではなく、万年坂につながるルート整備を行なったところ、ここに名所看板があったらもっと楽しめるのではないかと、ここに椅子があったらひと息つけるだろうと、活動

